

だんだん

vol.2016.2

「だんだん」とは、西日本の一部地方の方言で「ありがとう」という意味です。のんびりした暮らしを連想させるこの言葉を、活動のテーマにしています。

史上もっとも暑いと言われる今夏。いよいよ夏本番です。ニュータウン中央南地区にお住まいの皆さま、皆で声をかけ合い、支え合い、健康に大過なく酷暑を乗り切りましょう。今年度最初の広報です。昨年度の報告と、これからの予定をお知らせします。

社協とは？

社会福祉協議会(社協)とは、助け合いの地域社会をめざし、市から様々な福祉事業を委託されている社会福祉法人です。ニュータウン中央南支部は、高花、原山、内野、戸神台で活動しています

27年度の事業 ※会計報告は裏面

- だんだんランチ／毎月第4水曜日の昼食
- ボランティア研修・交流会／10月、3月
- 船穂中さわこみバザー参加(餅つき体験)／10月
- 三世代交流ユニカール／6月、7月、11月
- だんだんの集い／12月
- 高齢者バスハイク／12月
- 講演会「今日から始める財産、身辺整理」／3月



28年度の事業

だんだんランチ

だんだんランチは、赤い羽根協同募金を財源とし、高齢のお一人暮らしの方(昼間独居も含む)を対象に、月に一度、一食200円で栄養バランスのとれた手づくりランチを提供する事業です。一人で外出の困難な方は、ボランティアによる送迎やお弁当の配達もいたします。

中央駅前地域交流館 1号館 2階
毎月第4水曜日



これからの予定

日 程
平成28年 7月27日 (第4水曜)
9月28日 (第4水曜)
10月26日 (")
11月16日 (第3水曜)
* 12月はお休み *
平成29年 1月25日 (第4水曜)
2月22日 (")
3月22日 (")



食後のミニコンサート

支部主催講演会

「いざという時に今、備えよう～今日から始める財産、身辺の整理」



昨年度末に、初めて支部主催の講演会を開催し、たくさんの方にご参加いただきました。「いざという時」への関心の高さが伺えました。

話し手は、司法書士の吉益千絵さん。「司法書士は見た?! あっと驚く事件簿」と題し、相続をめぐる二つの事例をご紹介いただきながら、「これらは、事後にはどうにもしようがない例。数年前に遺言していれば、こんなことにはならなかった。

財産や身辺の整理は、後に残された人が困らないようにしておくこと。いま自分が楽をするか、残された人に楽をしてもらうか、の選択です。」と、遺言などの大切さを教えてくれました。

また、伯母、父、母の成年後見人となった内野の谷道子さんからは、「自分には大切な思い出の品も、別の人にはどうしてもよい品。手紙など気持ちのこもった品の処分は、残された者にとっては後味が悪いもの」と、経験を話されました。



今年度も、「いざという時に備える」をテーマに、「最期の医療行為の選択」についての講演会を企画したいと考えています。ご期待ください。

27年度の会計

収入 (円)		支出 (円)	
助成金	300,000	だんだんの集い	102,600
参加者負担金	342,800	三世代ユニカール	16,864
繰越金、雑入	45,572	さわコミの餅つき体験	14,716
		バスハイク	239,665
		ボランティア研修、交流会	189,792
		広報だんだん	23,614
		講演会	17,000
		事務運営費、予備費	22,514

福祉活動、ボランティア活動に興味のある方、ぜひご連絡ください!

問合せ・連絡先 内野/志賀泰次郎 46-5825 高花/山下順三 46-6896
 原山/小関ミツ子 37-7237 戸神台/野中文代 46-4134